

国語

☆国語力は全ての教科の基礎です。言葉に関心を持ち、意味を理解した上で、正しく使えるようになります。

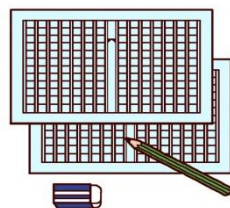
(予習)

- 教科書を音読する。
- 新出漢字を読めるようにする。
- 意味の分からない言葉は、辞書を引いて確かめる。

(復習)

- 授業で習った漢字を繰り返し(10回以上)書いて覚える。
- 新出の漢字や語句については、意味を覚えて短文を作れるようにする。
- 文法や古典などの重要な語句をノートにまとめる。
- 授業で習った範囲のワークをする。

記述式の問題は空欄にせずに、必ず自分の言葉で書けるようにする。



数学

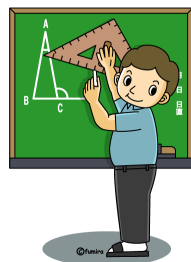
☆数学は日々の積み重ねが大切です。ワークなどを使って、正確に早く計算ができるように練習することと、応用問題をできるだけたくさん解くことに重点を置いて取り組みましょう。

(予習)

- 教科書を読んで、次に習う内容を大まかにつかんでおく。

(復習)

- 授業で習った解き方や重要な点をノートにまとめる。(短時間で分かりやすく簡単に)
- 授業中に解いた問題を、もう一度解いてみる。
- 授業で習った範囲のワークをする。必ず丸付けをして、できなかった問題の解き方や間違えた理由を理解した上で、同じ問題ができるまでチャレンジする。
- 計算が苦手な人は、計算が確実にできるように教科書やワークの計算問題を解く。計算が得意な人は、できるだけ多くの応用問題にチャレンジする。



ポイント

○学習に集中できる環境を整える。(机の周りを整理、マンガ、ゲーム等の気が散るものは近くに置かない。)

○教科で出された宿題や課題を整理し、その日の学習計画をしっかりと立てる。

○自分の課題を見つけ、自主学習に励む。

○授業で配布されたプリント類はその日のうちに整理する。(ノートに貼る。ファイルにとじる。教科ごとに分類して、テスト勉強の際に役立つ。)

○宿題はその日のうちに家でやり、課題は必ず期限内に提出する。

○問題を解いた後は、必ず丸付けをする。間違えた問題は原因をつきとめ、次に同じ問題が出たときにできるように練習をする。(覚え直す。)できなかった問題は解答を見て、解き方を理解しておく。

○読書に親しみ、月に一冊は本を読む。

○新聞やニュース(ネットニュースでも可)を見て、社会や世の中の動きを少しでもよいでつかんでおく。

中学校 家庭学習の手引き (米原市教育センター作成)

今日の授業を振り返り、
明日の授業に課題を持って
家庭学習に取り組んでいきましょう

理科

☆理科は自然や科学に興味を持って、法則や理論をしっかりと理解することが大切です。覚えなければならない用語もたくさんありますが、理科に関して話題になった事柄については、新聞やニュースを見て把握しておきましょう。

(復習)

- 授業で習った重要な点やポイントをノートにまとめる。
- 教科書の文章を理解できるまで読み、法則や理論を自分なりに理解する。
- 実験については、方法や手順、結果から何が言えるかを自分なりにノートにまとめる。
- 授業で習った重要な用語を整理して、意味とセットで覚える。
- 授業で習った範囲のワークをする。丸付けをして、間違えた問題を覚え直す。



社会

☆歴史・地理・公民のどの分野においても、そのことが起きた理由や流れが必ずあります。記憶を定着させるためにも重要な語句は丸暗記ではなく、その流れを理解してセットで覚えるようにしましょう。

(予習)

- 教科書を読み、太字、難しい語句分からない語句をマーカーでチェックする。

(復習)

- 授業で習った重要な点やポイントをノートにまとめる。
- 授業で習った重要な語句を漢字で書けるように繰り返し練習して覚える。
- 地名が出てきたら必ず地図で場所をチェックする。
- 歴史上の事柄は、流れを年表で確認する。
- 授業で習った範囲のワークをする。(丸付けをして、間違えた問題を覚え直す。)



英語

☆英語は使える単語の数が多いほど、豊かな表現ができます。語順をしっかりと理解し、繰り返し音読をしましょう。

(予習)

- 新出単語の意味調べをする。
- 本文をノートに書き写し、次に習う内容を大まかにつかんでおく。

(復習)

- 教科書の本文を繰り返し(10回以上)音読する。
- 授業で習った単語や熟語を、見なくても書けるようになるまで繰り返し(10回以上)書いて覚える。
- 英文を日本語に直したり、日本語を英文に直したりして、英文が書けるようにする。
- 授業で習った範囲のワークをする。(基本本文の練習)

